

科目名 (科目番号)		看護倫理 (時間割参照)	教員名	看護学科教員	学科等	看護学科	必修	履修年次	3
					曜日・時限等	時間割表参照	単位数		1
					授業形態	講義	オフィスアワー		
授業概要		看護倫理の基盤となる倫理原則や諸概念を学び、人間らしさ、人権擁護や知る権利、生活の質の向上などの側面から看護実践における倫理的問題へのアプローチや創造的な問題解決方法を考える。 倫理的行動がとれるようになるためには倫理的感性を磨くことが不可欠である。課題学習を取り入れ、学びのプロセスで倫理的感性を高めることに重きをおく。							
目的・目標		目的:看護実践者としての基盤となる倫理的感性・倫理観を培い、倫理的に物事を考える道筋を見出せる。 目標:①倫理の意味について理解し、自分のことばで説明することができる。 ②「良い」とはどういうことか、「良い人」「良いナース」とはどういう人か、考えることができる。 ③倫理的判断の必要な状況について知り、判断・行動するための考えの進め方を知り活用する姿勢が持てる。 ④看護実践において、何が良いことか、根拠をもって考えながら行動する姿勢が高まる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授 業 計 画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	看護倫理の基礎		到達目標:看護倫理の基礎、職業と倫理について概要を理解する。 学習内容:倫理の意味、価値、看護倫理の必要性、医療倫理・看護倫理の変遷について学習する。					
	2	看護倫理のアプローチ		到達目標:さまざまな看護倫理の考え方が理解できる。 学習内容:徳の倫理、原則の倫理、ケアの倫理について学習する。					
	3	看護実践上の重要な倫理的概念		到達目標:看護実践上の重要な倫理的概念を説明できる。 学習内容:患者の権利、重要な倫理概念(インフォームド・コンセント、コンパッションや思いやりの心、共感、道徳的感受性と倫理的感受性、守秘義務、責務と責任、協力、アドボカシー、ケアリング、パターンナリズム)について学ぶ。					
	4	倫理的意思決定プロセス		到達目標:看護実践における倫理的問題、解決方法について理解できる。 学習内容:倫理的判断が問われる問題と意思決定方法としての4ステップモデルについて学習する。					
	5	倫理的問題の検討(1)		到達目標:グループ学習を通して看護実践における倫理的問題について考えを深める。 学習内容:事例検討(自己体験)を通し、意思決定方法の視野を広げる。					
	6	倫理的問題の検討(2)		到達目標:グループ学習を通して看護実践における倫理的問題について考えを深める。 学習内容:事例検討(自己体験)を通し、意思決定方法の視野を広げる。					
	7	倫理的問題の検討(3)		到達目標:グループ学習を通して倫理的問題について視野を広げる。 学習内容:メンバーと協力し「倫理的問題」についてまとめ発表する。					
	8	看護倫理とは		到達目標:看護倫理について総合的に理解する。 学習内容:看護倫理について履修したことを振り返り学習を深める。					
成績評価の方法・基準		課題レポート50%＋試験50%(対面・オンライン共通)							
教科書		看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ		小西恵美子			南江堂		
参考図書		看護倫理1		D.ドゥーリー, J.マッカーシー著 坂川雅子訳			みすず書房		
教員からのメッセージ		どんなに優れた知識・技術を用いても、相手を尊重した態度が伴っていなければ看護は成立しません。すなわち看護は倫理的行動がとれることが前提です。そのため、皆さん自身が授業中も倫理的行動がとれることを重視します。例えば、約束を守る、遅刻・欠席をしない、相手を尊重するなど。また、各自の出会った倫理的問題について率直な意見交換を期待します。課題レポートは授業後にコメントを付けて返却します。臨床経験豊富な看護師資格を持つ教員がこの授業を担当します。							